

平成28年度全国及び岡山県学力・学習状況調査 結果と今後の取組について

津山市立中道中学校

教育目標(めざす児童生徒像)

- 人を愛し自然を大切に作る心豊かな人間を育てる
- 協力し合う生徒
 - 自立する生徒
 - 創造していく生徒
 - 支え合う生徒

今年度の指導の重点

- ・確かな学力を育てる
- ・豊かな心を育てる
- ・主体的に考え行動できる生徒を育てる
- ・地域や保護者と連携した教育活動を推進する

調査結果について(調査結果において明らかになったこと)

【学力状況調査の結果】

- 全国
- 国語A・B、数学A・Bともに県・全国平均と比べると正答率が高い。特に国語Bについては県・全国平均よりかなり高い。
 - 国語については「書くこと」の領域が県・全国平均よりかなり高い。
 - どの教科においても、無解答率が県・全国平均より低い。

- 県
- どの教科においても正答率が県平均より高い。特に理科は県平均よりかなり高い。
 - どの教科においても基礎の正答率が県平均より高い。社会、数学の活用の正答率は県平均より低い。
 - 社会については、「我が国の国土と地域の様子」は正答率が高いが、「歴史」の活用が低い。
 - 数学については、「数と計算」、「数量関係」の基礎は正答率が高いが、活用は低い。

【学習状況調査の結果】

- 学校が楽しいと感じている生徒が多い。
- 授業の始めに目標が示されている割合が県・全国平均よりかなり高い。
- 読書時間(30分以上)の割合は県・全国平均よりかなり高い。
- あいさつをする生徒の割合は県平均とほぼ同じ。

- 家庭学習の時間(1時間以上)の割合は全国平均よりかなり低い。
- テレビ等の視聴時間(1時間以上)の割合は県・全国平均と比べると高い。

成果と課題

- 朝読書の取組を続けており、朝から落ち着いた学習環境を整えている。また、図書館の利用頻度や読書時間も多い。
- 授業の中で目標掲示を徹底しており、生徒がその目標達成に向けて授業を大切に受けている。
- 授業規律の徹底をしており、時間を守る、服装を整えることができている。
- 校内研修が充実しており、教科指導の改善が進んでいる。
- 学校行事の中で生徒自身に達成感をもたせる取組を通して、自己肯定感が高まっている。
- 家庭との連携を図り、家庭からの協力を得ている。
- 漢字の読みや基礎的な計算力や自然事象についての知識などについて、複雑な設問については、問題の意図を読み取れていない生徒が多い。
- 選択式、短答式の問題と比べて、記述式の問題については無解答率が高い。
- 平日・休日の学習時間は、ともに県・全国平均より短い。
- メディアの利用時間の割合は県・全国平均より高い。

課題に対応した改善方法

- 問題データベースをミニ学習の時間に行う。また、定期テスト範囲の中に組み込んで、家庭学習の時間を増やす。
- 授業で文章を書くことに慣れさせたり、基礎的な知識を繰り返しプリント学習したりする。
- 公式の成り立ちをなぞったり、自分の考えを深める活動を取り入れた学習をしたりすることで、集団の質を高めていく。
- イメージしにくいものは、実物やICTなどを活用し、五感に訴えた教材を活用していく。
- 学習の中で、簡単なことでも体験する活動や言語活動を増やしていく。
- 自分の考えを人に伝えたり、人の考えを聴いたりする体験を増やしていく。
- 授業研究会を中心に据えた校内研修の実施などで授業改善を図る。
- 岡山県型学習スタンダードの更なる徹底を図る。
- 授業のユニバーサルデザイン化を図り、誰もが学習しやすい環境を整える。
- 「学習の手引き」の更なる活用。
- メディアと上手に接する態度の育成。

取組の検証方法及び検証時期(2学期末及び年度末)

- 生徒へのアンケートの実施(10月、2月)
- 中2に学力定着状況たしかめテストの実施(10月)
- 授業参観シートの活用(随時)
- 校内研究授業の研究協議で検討(学期ごと)
- 学校行事の反省(随時)
- 生徒による授業の振り返りシートの活用(随時)

各校の具体的な達成目標(数値目標等)

- 自分の考えを深めたり、広げたりすることができる割合を70%以上にする。
- 休日の学習時間が1時間以上の割合を60%以上にする。